

20s システム開発におけるレビュー技法

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室（住所：〒850-0032 長崎市興善町4番6号）
・講師	福岡ソフトウェアセンター(FSC)講師：宿澤 直正
・開催月日	2027年2月25日(木)・2月26日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30（7時間/日）・2日間（14時間）
・受講料(税別)	94,560円
・教材料(税別)	6,000円

2. 対象者

業務でレビューを主催する方、もしくはレビューに参加する方

3. カリキュラムの概要

プログラムの構造設計・開発工程において、プロジェクトチームとして効率的に機能するためのレビュー技法について、基本的な技術(レビューの心得、レビューの進め方など)を学習します。
 1日目の目標は「レビューの視点を知る」ということで、様々なレビューの種類を学び、どのような視点でレビューを行うかを学びます。
 2日目の目標は「レビューの技法を知る」ということで、インスペクションのプロセスを通じて効率的、効果的なレビューの仕方を学びます。
 よりレビュー効果の高い、上流工程におけるレビューを意識したカリキュラムになっています。
 レビューに時間がかかりすぎる、レビューで表面上の欠陥しか見つからないといった問題と向き合います。
 レビュー実施時に有効な生成AIの活用についてもお伝えします。

4. カリキュラムの詳細

2日間(14時間)

	科目	時間	科目の内容
2月25日	0. オリエンテーション	0.5h	
	1. システム開発の現状とレビューの関係	2.0h	(1)システム開発の現状とレビューの関係 (2)システム開発の「見える化」とレビュー (3)プロセスレビューでの「見える化」ポイント (4)プロダクトレビュー実施におけるポイント 【講義・演習】
	2. レビュー技法の種類と概要	2.0h	(5)レビュー技法の種類と概要 (6)なぜ、レビューはされないのか (7)レビューに関するディスカッション 【講義・演習】
2月26日	3. インスペクションの概要	2.5h	(7)インスペクションの概要 (8)インスペクションプロセス 【講義・演習】
	4. インスペクションプロセス	2.0h	(8)インスペクションプロセス (9)インスペクションデータの分析・評価 【講義・演習】
	5. レビュー	4.5h	(9)インスペクションデータの分析・評価 (10)レビュー促進するには (11)職場でのレビューの必要性 (12)職場の現状と課題を考える (13)自分たちにあったレビュー技法を考える 【講義・演習】
	6. 総まとめ	0.5h	(14)全体まとめ
	計	14.0Hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

- ・様々なレビューの種類の違い、どのような視点でレビューを行うかの視点を習得する。
- ・インスペクションのプロセスを通じて効率的、効果的なレビューの技法を習得する。

7. ITSSレベル

2-3